社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

平成29年03月17日

計画の名称	住田町の心地よい生活環境を支える道づくり（防災・安全）													
計画の期間	平成２９年度　～　令和０３年度　(5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	住田町													
計画の目標	道路修繕計画の策定を行い、利用者の利便性向上による交通の安全・安心な通行を確保する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	399	A	389	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		2.5	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29	0	H33
1	道路機能を保全するために対策が必要な箇所の整備率			
	道路機能の保全を行う必要がある個所に対する改善整備率 改善整備率＝（改善整備済延長÷要改善計画延長）×100	37%	49%	66%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

案件番号：　0000151798

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H29	H30	H31	R02	R03	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	住田町	直接	住田町	市町村道	修繕	(1) 新切新田線外3路線	舗装補修L=8.58ｋｍ	住田町	■	■	■	■	■	389		未策定
											小計						389		
											合計						389		

案件番号： 0000151798

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H29	H30	H31	R02	R03	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	C01-001	道路	一般	住田町	直接	住田町	市町村道	調査	道路施設点検事業	調査L=8.19ｋｍ	住田町	■	■	■	■	■	10		未策定
		道路施設の定期点検を実施し適切な維持管理を行うことにより、施設の長寿命化を図るものである。																	
											小計						10		
											合計						10		

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H29	H30	H31		
配分額（a）	11	10	21		
計画別流用増△減額（b）	0	0	0		
交付額（c=a+b）	11	10	21		
前年度からの繰越額（d）	0	0	0		
支払済額（e）	11	10	21		
翌年度繰越額（f）	0	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額（h = c+d-e-f）	0	0	0		
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 住田町の心地よい生活環境を支える道づくり（防災・安全）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合	
I.　目標の妥当性 1）計画の目標が住田町の総合計画と適合している。	○
I.　目標の妥当性 2）上位計画等と整合性が確保されている。	○
I.　目標の妥当性 ②地域課題への対応	
I.　目標の妥当性 1）地域の課題を踏まえた、生活環境の向上と産業振興の基盤整備となっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II.　計画の効果・効率性 1）目標と指標・数値目標の整合性がある。	○
II.　計画の効果・効率性 2）指標・数値目標と事業内容の整合性がある。	○
II.　計画の効果・効率性 3）指標・数値目標が分りやすいものになっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II.　計画の効果・効率性 1）目標に対して十分な効果を得られる事業で構成されている。	○
II.　計画の効果・効率性 2）ハードとソフトの連携が図られている。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤計画の具体性	
III.　計画の実現可能性 1）ハード整備の必要性が整理されている。	○
III.　計画の実現可能性 2）ハード事業で保全される区域が明確である。	○

案件番号：0000151798

事　　前　　評　　価	チェック欄
III.　計画の実現可能性	
3）ソフト施策の目的が明確である。	○
III.　計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境	
III.　計画の実現可能性	
1）計画の内容に関し、地元に対する事前説明が行われている。	○